

ONCC 第10期生 ぶらっと散策3 第10回 春日神社コース

日 時：2022年11月10日(木) 出発：午前10時 解散：午後12時

天 候：快晴

出席者：受講生31名、CA2名 計33名

午前9時50分に緑地公園東中央広場に集合し、CAさんから本日の予定・注意事項の説明を受けた後、1班を先頭にして出発しました。

今回は、ガイドさんの案内はありません。

本日の探訪コースは、「子鹿橋」⇒「いなり山公園」⇒「西照寺」⇒「春日地蔵」⇒「春日神社」⇒「春日遊園」⇒「東泉丘第4公園」⇒「民家集落博物館」のルートで散策しました。



【西照寺は、元禄5年(1692年)の記録に「寛永8年(1631年)門徒共」開基とあり、寺は下新田村が成立して間もない頃に開かれたとみられます。ただ、寛永14年(1637年)の記録には「惣道場」と記録され、まだ西照寺と言わなかったようです。元禄5年には西照寺と記録されていますから、本尊が授与されたという延宝7年(1679年)に西照寺と名乗ることが許されたのではないでしょうか】

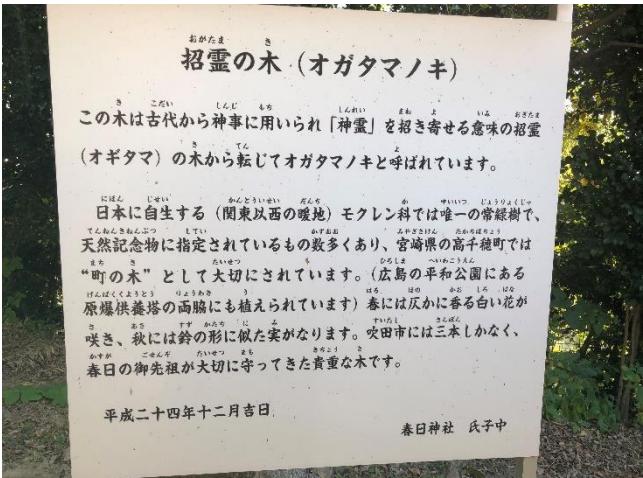


【春日地蔵尊：祀られている 6 体の石仏は、嘉永 2 年(1849 年)に 5 月の大雨の時、水田から掘り出されたといいます。四方講という地蔵を祀る組織がつくられ、現在は春日地蔵講と名が改められて、お祀りを続けています。現在も年番制で「トヤ(トウヤ)」という、その年のお祀りを主宰する 2 家が決められ、毎年 8 月 24 日に地蔵盆と盆踊りを行っています。】

やっと春日神社に到着しました。ここで「お茶休憩」です。

【春日神社は下新田村の産土神で、昭和28年(1953年)に下神田村が吹田市との合併にあたり、この神社の名前にちなんで旧下新田の地域を春日としたといいます。春日神社は元禄5年(1692年)の記録によって慶安元年(1648年)の勧請であることがわかります。伝承では下新田村の開墾が主として佐井寺村の人によって行われたことから、佐井寺村の氏神を勘請したため、春日明神を祀るようになつたといわれています。】

この後、細くて歩きにくい坂道が続いたため、先頭と最後尾の距離が長くなることがあり、時々先頭に「トップ！」のかかる事がありました。





午後12時頃、「日本民家集落博物館」に到着しました。ここで入館する人と入館しない人に分かれて解散しました。

本日は、晴天に恵まれて最高の散策日和でした。皆さんお疲れ様でした。

記録：3班